

2026 年 10 月 9 日

株式会社ゼンリン

ゼンリン、「CEATEC 2026」に出展 “地理空間情報×パートナー共創”をテーマに 社会課題解決を支援する各種取り組みを紹介

株式会社ゼンリン（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：竹川道郎、以下ゼンリン）は、2026年10月13日（火）から10月16日（金）まで幕張メッセで開催される「CEATEC 2026」に出展します。

本展示会でゼンリンは、一般社団法人 LBMA Japan が運営する共同出展ブース内において、「地理空間情報×パートナー共創による社会課題の解決」をテーマに、ゼンリンの高精度な地理空間情報と、パートナー企業やグループ会社が有するデータや AI 技術を組み合わせ、複数の共創事例を紹介します。



▲一般社団法人 LBMA Japan の「LBMA パビリオン」内にブースを出展

■出展背景

ゼンリンは、中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2030」で掲げる方針の一つである「企業共創」のもと、多様な企業・団体が保有するデータ、技術、知見とゼンリンの保有する高精度な地理空間情報を掛け合わせることで、新たな価値の創出に取り組んでいます。

今回の出展では、こうした企業共創の取り組みの一環として、災害リスクの可視化、インフラ維持管理の効率化など、パートナー企業との連携による社会や企業の課題解決につながる具体的なソリューション事例を紹介します。

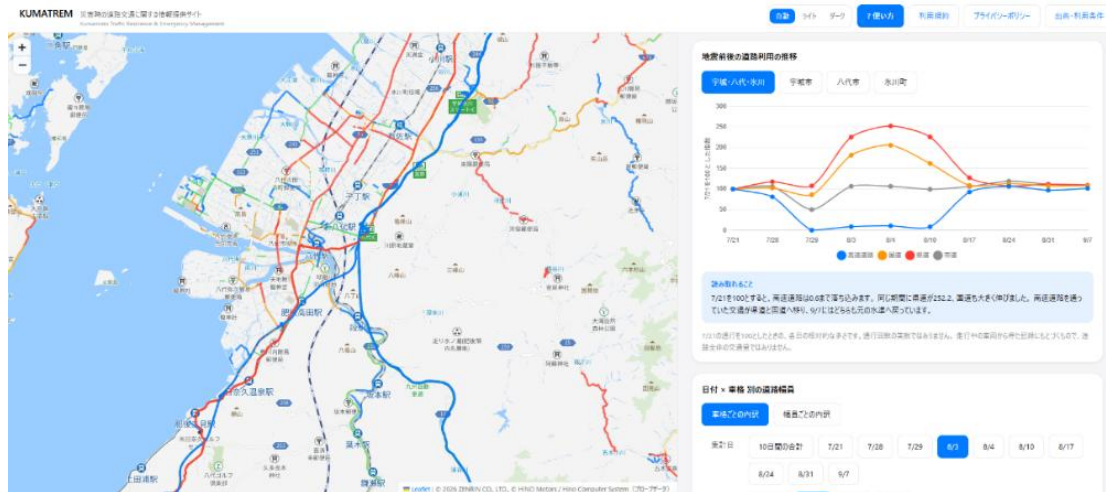
■出展内容①：地震前後の交通量の変化や通行実績を可視化する「KUMATREM」(クマトレム)

ゼンリンが参画する特定非営利活動法人 ITS Japan 提供の、令和8年熊本地震発災前後における交通量の変化や通行実績を可視化する情報提供サイト「KUMATREM」(クマトレム)を紹介します。

本サイトは、ゼンリンが保有する詳細な道路ネットワークデータと、パートナー企業各社が持つ車両走行実績データや渋滞情報などを組み合わせて構築しました。

異なるデータを保有する企業・団体※¹との共創により、複数の交通データをワンストップで可視化・分析できる環境を実現し、被災地域周辺の交通状況の多面的な把握を支援しました。

（「KUMATREM」特設ページ：<https://public.kumatrem.com/>）



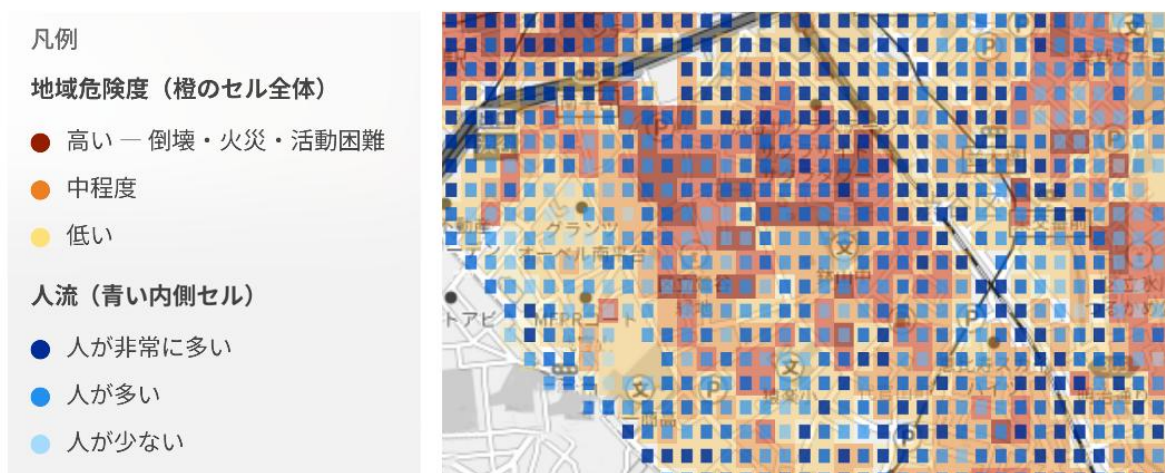
▲多様な交通データをひとつの地図に集約し、移動状況を可視化

※1: TomTom/日野コンピューターシステム株式会社/日野自動車株式会社/みずほ総合研究所(みずほ総合研究所はみずほ銀行内の組織の名称です)/一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター(略称: VICS センター)/主な学術連携先: 呉工業高等専門学校(神田佑亮教授)

■ 出展内容②: 地理空間情報と人流データを連携した「動的リスクマップ」

ゼンリンが保有する建物・道路などの詳細な地理空間情報と、パートナー企業が保有する人流データ※2の取得・分析ノウハウを組み合わせ、災害発生時における時間帯ごとの人的被害リスクを可視化する「動的リスクマップ」の取り組みを紹介します。

建物の構造や築年数などから捉える建物リスクと、時間帯ごとに変化する人流データを組み合わせることで、従来の静的な災害リスク評価では把握が難しかった人的被害リスクの時間的な変化を可視化し、防災・減災に向けた新たな活用可能性を検証します。(連携企業: ジオテクノロジーズ株式会社)

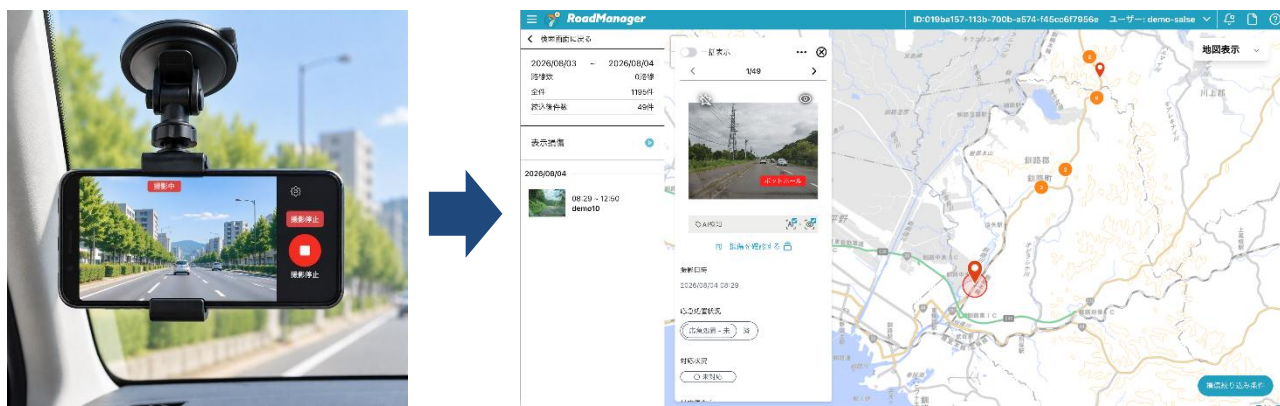


▲建物リスクと時間帯別人流を統合し、人的被害リスクを動的に可視化

※2: プライバシーを保護した位置情報データです。収集、使用する全てのデータは許諾の取れた情報のみを使用しています。また、匿名加工処理により使用する情報から個人を識別することはできません。

■ 出展内容③: AIによる道路損傷検知サービス「RoadManager」

スマートフォンを巡回車両に設置して走行するだけで、スマートフォンが撮影した画像から AI が道路損傷を自動検知する道路維持管理サービス「RoadManager」を展示します。検知した損傷は位置情報・画像とともに地図データ上で管理でき、コストを抑えつつ、点検業務の効率化や、データに基づく修繕計画の検討を支援します。(連携企業: アーバンエックステクノロジーズ株式会社)



▲巡回車両にスマートフォンを設置し走行することでクラウド上に撮影データを自動アップロード
AI が自動検知した道路損傷情報の地図データ上での確認が可能

■ 10 月 14 日(水) 共創と AI 活用をテーマにしたセッションに登壇

本セッションでは多様なパートナー企業やグループ会社との共創を通じて、地理空間情報や AI 技術を社会課題の解決に活用するゼンリンの取り組みを紹介します。

タイトル	共創と AI 活用で拓く、地理空間情報の未来
時間・会場	10 月 14 日(水) 15:50~16:15 幕張メッセ E ステージ
登壇者	公共ソリューション事業本部 本部長 磯 尚樹 サービス開発本部 サービス開発三部 サービス開発一課 横須賀 玲央 公共ソリューション事業本部 公共ソリューション事業推進部 営業推進課 中村 明弘 公共ソリューション事業本部 サービス企画開発部 宗方 かすみ

■ 出展概要

展示会名	CEATEC 2026 URL: https://www.ceatec.com/ja/
開催時期	2026 年 10 月 13 日(火)~10 月 16 日(金) 10:00~17:00
会場	幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1) アクセス: https://www.ceatec.com/ja/access/
ブース位置	X(Transformation)パーク Hall6/ブース番号 6H121、LBMA Japan 内